



# とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

- ②～③ 9月定例会  
補正予算・質疑等
- ④～⑤ 平成27年度決算の主な事業
- ⑥～⑨ 一般質問

- ⑩ 委員会報告  
(総務産業建設・文教市民福祉)
- ⑪ 決算審査特別委員会報告
- ⑫ 表決結果、議決結果一覧表

2016年  
第43号  
平成28年11月1日発行



川内地区宵祭り(神輿のかき棒の上で獅子舞)

# 9月定例会

## 平成28年度一般会計総額は 145億6,197万円に

# 9月 補正予算 3,115万円を追加

9月定例会が9月6日から28日まで23日間の会期で開催された。

今回定例会では一般会計補正予算等21議案(補正予算1件、条例改正4件、その他議案2件、認定9件、人事案件1件、報告関係4件)を慎重に審議した。  
なお、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定等9件については、議長、監査委員を除く全議員が委員となり、決算審査特別委員会を設置し審査を行った。

### 一般会計補正予算に 計上された主な事業

(注)事業名称欄の◎印は新規事業、★印は総合戦略事業

- ★移住定住情報発信事業
  - ・移住定住施策の取組強化に向けた移住定住情報の広報経費 170万円
- 防犯対策事業
  - ・LED化推進による地区防犯灯設置補助金の増額 240万円
- ★子ども医療費助成事業
  - ・中学校卒業までの通院、入院医療費の助成制度拡充に向けた事務経費 118万円

新規就農者拡大促進事業
・新規就農者の農業用機械導入経費に対する助成 146万円

認定農業者経営改善支援事業
・認定農業者の農業用機械導入経費に対する助成 343万円

担い手農地利用集積支援事業
・地域農業の担い手の農業用機械導入経費に対する助成 382万円



平成27年度に同事業で導入したコンバイン

農業経営法人化等支援事業
・集落営農の組織化及び法人化に対する支援経費 60万円

県営かんがい排水事業(佐古地区)
・佐古ダム冬期用水の有効活用を図るためのかんがい施設整備に係る負担金 117万円

農地耕作条件改善事業
・見奈良廣坪地区の水路改修経費 212万円

◎新規就農支援小規模基盤整備モデル事業
・松瀬川松皮地区の水路改修経費に対する補助金 80万円

市有林管理費
・分収林契約に基づく市有林の立木売却処分に伴う分収造林者への交付金 1,200万円

消防団員安全装備品整備事業
・消防団員の活動に係る安全装備品(編上安全靴)の整備経費 48万円



編上安全靴

■財源変更
■コミュニティ施設耐震改修事業
・吉久集会所改築に係る県補助金の交付決定に伴う財源変更(公共施設木材利用推進事業費補助金)

### 議案に対する質疑

#### 一般会計補正予算

**問** 子ども医療費助成事業はどのような考えから予算化したのか。今後さらなる拡充は。

**答** 子ども医療費の助成についてはこれまで段階的に制度の拡充をはかってきている。

今回の、中学校卒業までの医療費の無料化については、議会が質問いただくと、極めて重要な施策であると考え、平成29年度実施に向けて予算化した。今後は、他市町の例などを参考に検討させていただきたい。

**問** 地区の防犯灯をLED化する予算によってどのくらい費用が節約できるのか。

**答** 市内に約3,000灯の防犯灯があり、今年7月末で全体の約20%、約600灯がLED化になった。

今回この予算を執行すれば年度末で、約26%程度がLED化されることになり、電力料金は改修前の約4割程度に削減される。

今後も区長会などを通じて啓発し、LED化を進めたい。



平成27年度に同事業で建築した井口集会所

**問** 公共施設木材利用推進事業費補助金の採択基準はどのようなになっているのか。

**答** 小規模木造施設整備事業の補助対象となる施設は、小規模な公共木造建築物を新規に整備する場合に要する経費。

採択条件は、主要構造物が木造である建築物であって、延床面積200㎡未満であるもの。また、木材使用量に占める地域材使用割合が、100%のもの。なお、地域材とは、県内において生産または加工・流通するスギ・ヒノキ・アカマツ・クロマツ。

**問** 分収林契約に基づく市有林の立木売却収入の樹種、樹齢、面積は。

**答** 樹種はスギ、ヒノキ、年は52年から58年、面積は2,69haと10,10ha、合計12,79ha。



市有林売却のための材積確認作業

**問** 立木売却収入1,200万円の積算根拠は。

**答** 現地確認により樹種と材積を特定し、材積にそれぞれ材の単価を掛けて売り上げの見込み額を算出したのち伐採と搬出に要する費用を差し引いて予定価格を算出している。

入札を行うための見込み額である。

### 議事Q&A

Q:市議会議員に退職金と年金はあるのですか。

A:退職金制度はありません。また、年金制度は、平成の大合併が急速に進んだことに伴い、自治体数・議員数の減少により年金財政は悪化し、平成23年6月1日に廃止され、それ以降に議員になった者には年金はありません。ただし年金については、制度廃止前(平成23年6月1日)に議員在職期間が12年以上など、一定の条件を満たす者には支払われている場合があります。

### 閉会中の主な議会活動

- 7月
  - 21日 文教市民福祉委員会視察研修
  - 22日 (岡山県奈義町・岡山県瀬戸内市)
  - 26日 議会だより編集委員会
  - 29日 議会だより編集委員会
- 8月
  - 2日 議会だより編集委員会
  - 10日 愛媛県市議会議員研修会
  - 30日 議会運営委員会

くすのき児童クラブの整備

決算額 73,537,900円

川上地区の児童クラブ「くすのき児童クラブ」について、老朽化及び対象児童の拡充対応のため新たな施設を整備しました。



総合公園等の整備

決算額 51,042,000円



公園利用者の利便性向上を図るとともに、市民の健康づくりや憩いの場の提供を行うため、重信川遊歩道の整備を行いました。  
また、えひめ国体に向けたきめ細やかな公園整備を行いました。

消防団指揮車等の更新

決算額 15,198,220円

平成4年10月に導入した消防団指揮車について、老朽化に伴う車輛更新を行い、あわせて小型動力ポンプ及びホース格納箱の新設・更新により、地域防災の要となる消防団機能の充実を図りました。



多世代交流拠点の整備

決算額 8,356,645円



高齢者の生きがいづくりや子どもの居場所、さらには地域資源の情報発信などをまちづくり団体等と連携しながら総合的に展開するため、横河原駅前の空き店舗を利用して多世代が気軽に立ち寄れる拠点『横河原ぷらっとHOME』を整備しました。

とうおんファミリーフェスティバルの開催

決算額 6,000,000円

市内飲食店を中心とした本市の愛味（うま）いもんを提供する事業所等を一堂に集めて、新たな顧客の創出や販路拡大、さらに新商品のモニタリングを行う場として「フードフェスティバル」を開催しました。

また、あわせて家族三世代で楽しめるイベントとして「ゆるキャラまつり」や、本市観光大使のミニライブを開催しました。



# 平成27年度決算 成果の一例

魅力あるまちづくりの推進

決算額 442,198,403円

都市施設が集積する愛大医学部周辺地区において、志津川土地区画整理事業を基幹とした安心安全な歩行空間ネットワークを形成し、「住みやすいまち・住んでみたいまち」の創出をめざします。

平成27年度で、基幹事業である志津川土地区画整理事業23.1haの造成工事及び、公共施設工事が完了しました。

また、歩道照明設備を完成させ、下水道工事が完了した路線から最後の工程となる道路舗装及び歩道整備に順次着手しました。



よしいのこども館の整備

決算額 164,464,497円



子育て支援のより一層の充実を図るため、児童健全育成の拠点施設として市内で最も児童数の多い南吉井地区に、市内で3館目となる児童館及び放課後児童クラブを整備しました。

小学校施設の改修

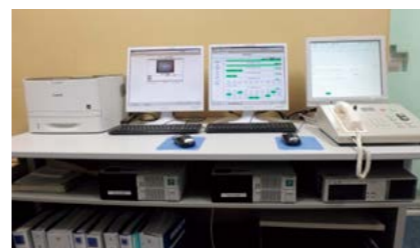
決算額 155,151,492円

小学校施設の安全性確保など、教育環境の向上を図るため、耐震補強改修工事や施設改修工事を行いました。これにより、平成27年度に耐震化率100%を達成しました。



防災行政無線の周波数統合整備

決算額 115,549,080円



平成27年度では、これまでに整備してきた防災行政無線同報系に加えて、災害現場と災害本部(市役所)との間など、車載型・携帯型移動局との双方向通信を可能にする防災行政無線移動系デジタル化移行整備を中心に行い、災害時における情報収集や伝達の迅速化など、総合的な防災体制の確立に努めました。

# 5議員 市政を問う!!

# 一般質問



9月定例会

一般質問

**問** 平成29年度から要支援1、2の認定者は、住みながら自宅で訪問介護、通所介護を利用しながら生活し、介護状態にならないよう懸命に頑張っている。

## 介護保険制度改正後の要支援1・2認定者への市の支援は



山内 数延 議員

平成29年度から要支援1、2の認定者の支援が一部国の基準から除外され、市の総合事業に移行する。要支援1、2の認定者は、住みながら自宅で訪問介護、通所介護を利用しながら生活し、介護状態にならないよう懸命に頑張っている。

**森市民福祉部長** 現在実施している訪問介護と通所介護のサービスをそのまま移行し、新しいサービスを追加することから、サービスの低下とならない。

市の総合事業に移行後の要支援1、2の認定者の支援は、また、高齢者が住みながら地域で安心して生活できる予防、医療、介護を組み合わせた地域包括ケアシステムの構築について、市の考え方は、



市内の耕作放棄地

新しいサービスは、現行よりも安価な介護報酬の単価に見直すため、利用者の負担増はない。

**大森農林振興課長** 大規模農家への集積のみでは荒廃農地の解消は困難であり、規模拡大と小規模農家の支援は荒廃農地対策の車の両輪であることから、荒廃農地の発生防止という目的に向けて、両方のバランスのとれた農業施策を行うよう努めたい。

**問** 国は耕作放棄地の解消に、大規模化の施策を推進しているが大規模化には限界がある。耕作放棄地の解消には小規模農家の育成も必要かと思うが、市の対策は、

地域の目標は、地域住民がみずからのアイデアで外部からヒト・モノ・カネを呼び込み、地域内で新たな雇用を創出し、移住者の受け皿となる地域づくりを進めるための組織づくりが目標である。

**大西副市長** 課題は取り組もうとする住民の有志がいる反面、無関心な住民も多いということである。

**問** 4月から地域おこし協力隊員を任命し、協力隊員は4地区に定住して地域と一緒に活動しているが、協力隊員が地区に入って感じていること、また課題として何を捉えているか、地域おこしの活性化事業等めざす目標は、

**問** 東温市のふるさと納税の実績は、平成26年度21件、110万7千円。平成27年度30件、1,145万3千円。平成27年度、最も多く寄附を集めたのが、宮崎県都城42億3,123万円。東温市も契約している、「ふるさとチョイス」というポータル

## ふるさと納税返礼品の充実



安井 浩二 議員

サイトはふるさと納税を地域で選んだり、寄附のお礼で選んだり、税金の使い道で選んだりでき、サイトからクレジット決済で寄附の手続きをすることができ、

1,788自治体のうち922自治体が手続き可能で、サイト登録会員数は78万人を超え、一か月に約700万人のふるさと納税をした人が訪れている。

現在、東温市では、1万円以上の寄附があった場合には3千円相当の特産品詰め合わせ、10万円以上の寄附があった場合には5千円相当の特産品詰め合わせを送付している。詰め合わせというところで写真を見てもよくわからない。選ぶこともできない。東温市の製品・特産品がわかる楽しいページにしてほしいか。

**問** 総合公園のハロウィンの森の遊具は子供に人気がある。ハロウィンの森へ行くには、サブ駐車場から花見の丘まで275m、高低差は6mであるが、花見

**総合公園ハロウィンの森への園路** 今後、新たな特産品の掘り起こし等を行い、寄附額に心した、より多種多彩な特産品のラインナップの充実を図り、ポータルサイト上において積極的にPRし、東温市の魅力を広く発信していきたい。

**永野総務部長** 市の特産品のPRという目的からすると、本来の魅力が伝わりにくい内容となっており、工夫・改善すべき点があると認識している。



総合公園ハロウィンの森への園路

**問** ハロウィンの森の遊具は子供に人気がある。ハロウィンの森へ行くには、サブ駐車場から花見の丘まで275m、高低差は6mであるが、花見

**高須賀市長** 経年劣化による路面の損傷が見受けられるため、ベビーカーも楽に押せるよう、早急に舗装の改修工法等を検討し、市民をはじめ、団体開催時の来園者への「おもてなし」として、来年8月末をめどに改修したい。

の丘から朝日の砂場までは168mで高低差14.4mであり、かなりきつい坂道になる。ベビーカーを楽に押せる舗装を検討してもらいたいが、市の見解は、



森 眞一 議員

## 国民健康保険税、ひとり年間1万円の引き下げを

**問** 国保加入世帯の収入別の世帯数を問う。昨年度の滞納世帯数と金額、差し押さえ件数と金額を問う。

**田中税務課長** 今年度の本算定時の国保加入者数、4、

765世帯のうち所得ベースに換算して、100万円未満の世帯が3,227世帯、100万円以上200万円未満が948世帯、200万円以上300万円未満が326世帯、300万円以上500万円未満が163世帯、500万円以上が101世帯。昨年度の滞納世帯数は1,021世帯、金額は1億3,569万2千円。差し押さえ件数は183件、98万7千円である。

**問** 資格証明書と短期保険証の発行件数について問う。

**安井市民課長** 8月末時点で、資格証明書を発行している世帯は29世帯、37名。短期保険証発行世帯は179世帯、325名である。

## 就学援助

**問** 低所得の家庭への就学援助の対象項目の拡大について問う。

生活保護基準の1.3倍の収入へ支給している現状を1.5倍にまで拡大できないかを問う。

## 加藤学校教育課長

県下でクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給対象にしているのは、2市3町という状況であり、他市町の今後の動向や本市の財政状況を考え合わせながら、検討していく。



多くの児童・生徒へ就学援助を

本市と同様の方法を認定基準としている全国の自治体のうち約85%の自治体が生活保護基準の1.3倍までとしている。現状では、運行日や運行時間の拡大は考えていない。



近藤 千枝美 議員

## 防災対策の強化を

**問** 避難行動要支援者への支援体制や避難訓練、避難情報の提供はどうか。

**門田危機管理課長** アレルギー対応の食糧備蓄は万全か。ペット同行の避難訓練実施はどうか。集会所、公民館等の安全対策はどうか。

要支援者名簿の再整備、個別計画の作成を考えている。住民参加型の防災訓練への参加促進や支援体制の充実を図る。安全に避難するための情報提供に努める。

本年度から市の総合防災訓練を、避難活動に重点を置く内容に変更した。ペット同行避難訓練について、地域住民の理解を求め実践したい。集会所等の耐震補強工事の補助を拡充し、施設の耐震化を進めるとともに、各地区において集会所等の維持管理や機能改善に取り組んでいる。今後、家具の転倒防止対策など安全対策に努める。



市役所の備蓄倉庫

## 空き家対策の現状は

**問** 空き家バンク制度の登録状況や活用の実績は。老朽危険空き家の把握状況と除去に要する費用への補助制度の創設は。低所得者支援として民間の空き家活用を考えてはどうか。

**佃企画財政課長** 昨年7月末創設の「空き家バンク」への登録は9月1日現在

31件。売買契約1件、賃貸契約5件が成立。空き家利用の希望者は、15名が登録。登録物件の増加に努めたい。

**丹生谷産業建設部長** 市内の住宅総数1万5千4百40戸のうち、空き家は1千2百50戸(8.1%)。今年度、市内全域において防災、防犯、環境保全に加え、利活用等、広範囲で活用できる空き家の実態調査を進めている。来年度「空き家等対策計画」の策定とともに、「特定老朽危険空き家等の除去に要する費用」への助成制度創設により、空き家対策を進める。平成27年度の市営住宅入居応募倍率は2.7倍。今後、入居応募倍率の上昇も予測されることから国の動向等を注視し、「空き家等対策計画」に反映したい。

## フットパス事業による地域活性化



大西 勉 議員

**問** 過年、市の各所でワークショップが開催された。主に里山の活性化を図るため、地域の自然や名所旧跡、伝統文化を見つめなおし、より住みやすくなるために世代を超えて話し合い、新しいふるさと創生のために行った活動であった。しかし現状変

化はなく過疎・高齢化の波はとどめなく押し寄せてきている。ワークショップによって得た資料が蓄積されているのだから、みずからの暮らす地域において育まれてきた誇るべき、文化・歴史・産業・景観等の資源を精査し、ルート設定を行い商品化し、道後温泉とジョイントすることで観光振興のきっかけとなり地域が抱える課題に向き合っていくことになるだろう。フットパスは資本も特別な技術もいらない極めて有効なる事業と思われ、検討してみたらどうか。見解は。

## 山本産業創出課長

平成24年度に東温版工コソーリスム・エコミュニティアム実現事業として、市内での散歩や自転車を活用した着地型観光メニ



道後との体験型観光ルートに指定されている奥松瀬川の乗馬クラブ

ューとして5つのモデルコースを作成し、モニターツアーを開催している。昨年9月に、5コースのうち3コースが、「新日本歩く道紀行100選」選考委員会に認定され、また、歴史民俗資料館の向井古墳と周辺の史跡を巡るふるさと歴史ウォーキングマップや、川内公民館の市内史跡、神社、旧街道を歩いて地域の歴史に触れるふるさと探訪教室など、今後これらの事業がフットパス事業につながるものと考えている。

## 市長のマニフェスト

**問** 市長は市政の推進におけるマニフェストを提示しているが、具体性に乏しく極めて抽象的である。また市長就任後の企業誘致についても目立った成果であるとは言い難いものである。今後、市政を担っていくとする中で、具体的なマニフェストをどのように示そうとしているのか。

## 高須賀市長

「若年雇用の創出」「定住促進」「子育て支援」「安心・安全、潤いのまちづくり」この4つの施策を柱として全国から住んでみたいと選んでいただけまちをめぐらして、力の限り取り組んでまいりたいと考えている。

### 総務産業建設委員会

#### 委員会での審査概要

##### ◎一般会計補正予算について

**問** 東京にある「ふるさと回帰支援センター」に置いてある東温市のパンフレットは、他市の方が見やすいが今後の対応は。

**答** 今後は、新聞社の取材力や他の要素を活用して移住を検討している方に見やすいものにしていきたい。

**問** LED防犯灯は、形状や明るさに様々なものがあるのか。

**答** 多様な商品が発売されているが、市の基準に従いLEDであれば8W程度の機器で更新をしている。また、最近のLED防犯灯は、広範囲を照らす。

**問** 県営かんがい排水事業佐古地区)について。

**答** 冬期用水の有効活用と夏期用水の排水困難地区の減少を図るもので佐古ダムから上重信橋を経て、見奈良地先へ配水する計画である。

**問** 市有林管理費の分収交付金について。

**答** 分収林契約をしている市有林の分収造林者から、主伐による売却処分要望があり、収益が見込まれるため分収交付金の

**問** 東温市国民健康保険条例の一部改正について

**答** 東温市国民健康保険条例の一部改正について

- ◎東温市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎東温市町総合事務組合規約の変更について
- ◎愛媛県市町総合事務組合規約の愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について

以上4件は、質疑なく  
全員賛成 原案可決  
【委員長 渡部繁夫】

### 文教市民福祉委員会

#### 委員会での審査概要

**問** 平成28年度東温市一般会計補正予算並びに東温市子ども医療費助成条例の一部改正について(中学校卒業までの医療費の無料化)は関連があるため一括審査

**答** 今回の条例改正による助成費の増額の見込みは。

**問** 平成27年度実績での試算では約3,000万円の増となるが受診増、自然増を見込むと約6,000万円の増とみている。

**問** 高校卒業まで医療費助成を拡充しては。

**答** 実績を見た上で検討したい。また、国の制度の創設を要望していきたい。

**問** 受診の際に必要なものは。

**答** 受診には保険証と受給資格証が必要であり、受診の際提示できない場合は自己負担となり後日償還払いとなる場合がある。

- ◎平成28年度東温市一般会計補正予算について
- ◎東温市子ども医療費助成条例の一部改正について

全員賛成 原案可決  
【委員長 山内数延】

### 行政視察報告

岡山県奈義町は、住民投票の結果「単独町制」を決定し、人口減少と少子高齢化対策として子育て負担の軽減に町単独事業を実施した結果、合計特殊出生率が全国一となるなど少子高齢化対策が推進されていた。

瀬戸内市では子育てに温かい地域づくりをめざし「安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり・人づくり」に瀬戸内市民がつくる日本一の子育て広場づくりプロジェクト構想を推進していた。また瀬戸内市環境美化条例を制定し、市民等が地域の環境美化の推進を図り、快適な生活環境の保全及び美しいまちづくりに努めていた。



岡山県奈義町での研修

### 決算審査特別委員会

#### 委員会での審査概要

##### ◎一般会計

**問** 集落支援員制度は、地域の活性化になったのか。

**答** 特に地域の活性化を進める意向がある4地区については、兼任の集落支援員を地域から推薦してもらい、平成28年度から地方創生の交付金事業に取り組んでいる。

**問** 中小零細企業販路拡大マッチング事業、東温ブランドづくり推進事業、中小零細企業販路拡大支援事業について効果は。

**答** 中小零細企業販路拡大マッチング事業については、松山市と共同で開催し、具体的な契約や、商品開発等につながった。ブランドづくり推進事業は、昨年度5件の事業者の新商品開発等の支援を行った。



中小零細企業販路拡大マッチング事業

**問** 女性のチャレンジ応援企画委託料の実績は。

**答** 東温市内で起業している、または市内で起業を希望する者を対象として支援を行った。平成27年度は21人の応募があり、うち1人は起業した。

**問** 老人保護措置費の事業の状況は。

**答** 経済上等の理由により自宅で日常生活を営むことが困難な高齢者に養護老人ホームへの入所措置を行う事業で、月平均16名が利用。

**問** 健康診査、がん検診の受診率の目標と達成率は。

**答** 国保特定健診の受診率は35・2%、75歳以上健診が16・

0%、30代健診が24・4%で、がん検診では、肺がん23・9%、胃がん19・5%、大腸がん31・0%、子宮頸がん33・4%、乳がん34・9%となっている。国のがん検診受診率の目標は50%で、目標には遠い。医療費削減のため、発症予防と重症化予防が重要で、受診率向上に努めていきたい。

**問** 人・農地プラン支援事業の成果は。

**答** 経営体育成支援により、中心経営体の育成に努めた。また、青年就農給付金を、認定新規就農者に給付し、経営支援に努めた。

**問** 国土調査事業の進捗状況は。

**答** 現地調査は平成27年度で終了。現在は、国・県への認証手続きや、登記替えを行っている。事業は平成29年度で終了予定。固定資産税の課税に



ふるさと交流館 さくらの湯

**問** 簡易水道特別会計

**答** 起債残高は約12億円で、償還は平成44年度に終了の予定。今後、上林・拝志地区の処理区統合事業に取り組むため、償還計画は延長することになる。

**問** 公共下水道特別会計

**答** 認定

**問** 水道事業会計

**答** 認定

**問** 国民健康保険特別会計

**答** 認定

**問** 後期高齢者医療特別会計

**答** 認定

**問** 農業集落排水特別会計

**答** 認定

# 議案等議員別表決結果、及び議決結果 一覧表

○：賛成 ×：反対 可：原案可決 否：否決 認：認定 同：同意 設：設置

平成28年第3回定例会（9月）		議員名	松末博年	丹生谷美雄	山内数延	渡部繁夫	森 眞一	相原眞知子	永井雅敏	丸山 稔	近藤千枝美	安井浩二	大西 勉	三棟義博	山内孝二	伊藤隆志	議決結果	
議案41	平成28年度東温市一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案42	東温市税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案43	東温市国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案44	東温市子ども医療費助成条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案45	愛媛県市町総合事務組合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案46	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案47	東温市議会議員及び東温市長の選挙における選挙運動経費の公費負担に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定 1	平成27年度東温市一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 2	平成27年度東温市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 3	平成27年度東温市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 4	平成27年度東温市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 5	平成27年度東温市ふるさと交流館特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 6	平成27年度東温市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 7	平成27年度東温市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 8	平成27年度東温市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定 9	平成27年度東温市水道事業会計決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
諮問 2	人権擁護委員候補者の推薦について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
議長発議	決算審査特別委員会の設置について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設

議長のため採決には加わっていません

## 議会を傍聴しませんか

市議会では1人でも多くの皆さんが傍聴され、議会活動を通じて市政に対する理解を深め、市政に参加されることを望んでいます。  
次の定例会は12月に開催されます。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越し下さい。



松前町議会のみなさん

**視察・研修**  
愛媛県松前町議会  
8月22日「議会基本条例」について議員14人、職員2人が視察に来訪。

## 12月議会の日程(予定)

21(水)	16(金)	15(木)	14(水)	13(火)	9(金)	6(火)
閉会	福祉委員会	建設委員会	一般質問	一般質問	質疑	開会

## 議会インターネット中継

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。  
また過去2年間の録画中継もご覧になれます。  
(市ホームページアドレス)  
<http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/>



東温市イメージキャラクターのどん

表紙撮影/松瀬川 松本真衣子

発行責任者 山内 孝二  
編集委員 大西 勉  
委員長 丸山 稔  
副委員長 森 眞一  
委員 永井 雅敏  
相原眞知子  
山内 数延  
丹生谷美雄

● **編集後記** ●  
たくさんの感動とドラマを残し、リオ五輪・パラリンピックが閉幕した。4年サイクルの開催は、紀元前から始まった古代オリンピックに由来し、今日に至っている。また、夏季五輪の年は通常、うるう年に重なり4年に一度訪れる。  
そしてもう一つ、東温市議会議員選挙が行われる年でもある。365日に1日足すように、議会も「プラス・ワン」をめざしたい。  
(丸山 稔)